

地域SNS Webサイトの構築

北海道 北広島市

人口：60,987人

面積：118.54km²

担当部署：情報推進課

概要

市民がインターネット上で情報交換をする「きたひろしま地域SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）しゃべねっと」を展開。SNSの開設および運営においては市内のNPOと協力しながら、新たな交流を創造する手法の活用促進を図っている。

選定理由

（北海道コメント）

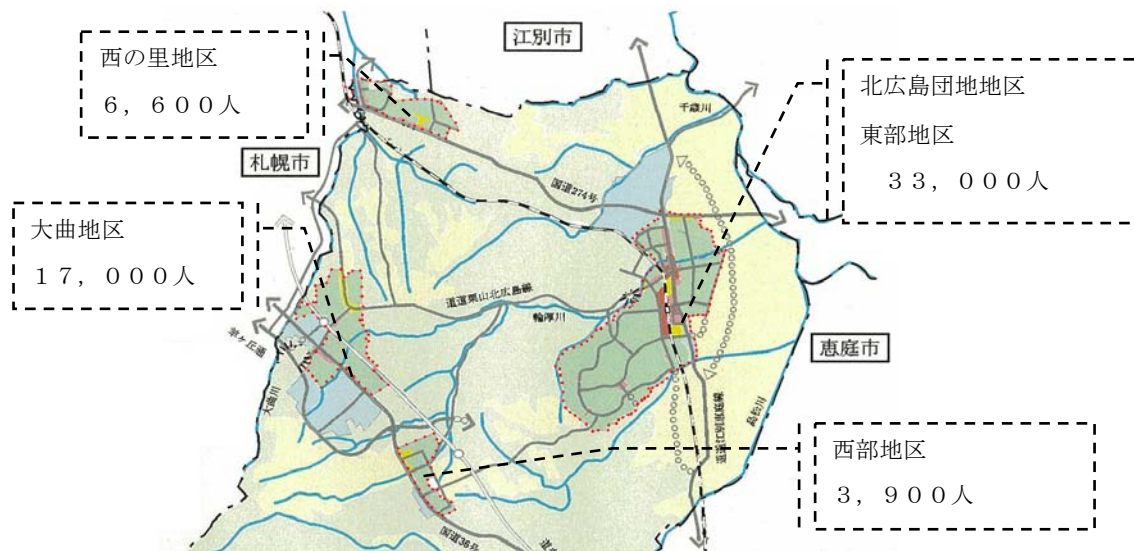
市教委の市民講師養成講座で誕生したスタッフにより結成されたNPO法人を活用し、世代に関係なく身近にコンピュータと関わりを持つことができ、気軽に安心してインターネットを利用し、市民同士のコミュニケーションを図ることができるものであり、高度情報化に対応した地域密着型事例である点を評価している。

背景

北広島市の市街地は五つの地域に分散しており、それぞれが独自の生活圏を形成しているため、物理的な距離が各地域の交流を妨げている。（次頁図参照）

そこで、Webサイト上に設ける交流の場（SNS）で「きたひろしま」を合言葉として展開される情報交換が、実際の出会い・つながりに発展していくことを願い、この取組に着手した。

【参考：北広島市の分散した市街地の状況】



具体的内容

【経費】

- 市はWebサーバの構築やハードウェア及びシステムの保守を担当。
(機器の導入) (平成20年度、地方自治情報センターの助成金を受け実施)
 - ・ サーバ購入と設定・・・2,422千円
 - ・ SNS運営委託・・・1,054千円
 - ・ その他通信費等・・・134千円

【委託】

- SNSの運営を市内のNPO法人「ITネットワーク」に委託。このNPOは、平成14年度から地域でパソコンの基本操作講習会を開催し、IT弱者が日常的な道具としてパソコンを使えるよう、情報格差の解消を目的に活動を展開している。
(委託内容)
問い合わせ対応、地域情報の収集・掲載、地域SNS内の公認コミュニティの設置と運営、地域SNS内の不適切発言の削除などの業務を委託。毎日のSNSへの書込みに対してコメントを出すなどのサポートをお願いしている。

取組中の課題・問題点

登録者は毎月増加しているが、実際に書込みをしている登録者は少しずつしか増加しない。登録者の約4割の方が書き込みをし、約6割の方は書き込みよりも閲覧することが多いと推定している。

情報格差の解消を図るために、さまざまな手段を講じる必要があるが、「書込みをする」という少し高いハードルを越えてもらえるように、身近な話題を集めてSNSの中で発信することなどの工夫が必要と感じている。

工夫点

- 地域SNSに継続的にアクセスしてもらうためには、サイト内の情報が「質」「量」ともに魅力的であることが必要であると考え、市内で活動する団体にSNSへの参加を働きかけ、リアルで新鮮な情報の量を増やすことに取り組んでいる。
行政から発信される情報は、安定しているが遅い傾向があるといわれていることもあり、行政はNPOの運営を極力邪魔しない程度の関わり方に止めている。
- 市内で活動する団体は多くあるが、情報を継続的に発信している団体は少ない。新聞や地域FMを通じて発信される一過性の情報だけでなく、地域SNSの中で団体の生の声を取材し情報発信のお手伝いができるよう、運営するNPOと協議をしている。

効果

参加者数

平成19年11月19日開設

20年3月末現在 登録者数 169人

20年11月末現在 登録者数 267人

11月現在90万アクセスを超え、SNSが定着してきていることがうかがわれる。

アクセス者の詳細な年齢構成は把握できないが、50歳以上の登録者が41%を占めていることから、幅広い年齢層からの利用があると推定している。(右表参照)

実例として、市外から北広島市内へ転入を予定している方が、地域SNSに市内の様子がわからないことを日記として書き込んだところ、すぐに6名の方からアドバイスの返答が寄せられるなど、リアルタイムな利用もされている。

地域SNSの運営委託業務の中には、市内の活動団体に対する出前講習やセミナー等の開催も盛り込んでいる。これらの業務活動がSNSへの登録や書き込みの動機となり、SNS内での登録者同士のつながりが活発になれば、実際の出会い・交流に展開していくことも期待できる。

年代	人数
～19歳	2
20歳～29歳	34
30歳～39歳	64
40歳～49歳	56
50歳～59歳	44
60歳～69歳	52
70歳～79歳	13
80歳～	2

住民（職員）の反応・評価

地域密着サイトと捉えて登録する方がいたり、転入してきたばかりでまだ知人がいないため何らかのつながりを求めて登録する方がいたりするなど、参加者・登録者の評価は概ね良好であると考えている。

フォローアップ

平成 21 年度には開設から 1 年が経過するため、SNS の使い方で困っていること、楽しみなことなどについて参加者アンケートの実施を計画している。

市外からの参加者が少しずつ増えるとともに、外部ブログから自動配信で当 SNS にアップロードされる例が増え、「北広島」「北広島近郊」に関連しない情報が散見され始めたため、今後の運営に向けては掲載情報を制限する必要性などについて、市と運営者で構成する「北広島市地域 SNS 運営協議会」での議論が必要と考えている。

今後の課題

SNS の仕組みだけでは情報の発信形態が画一的になりがちであり、また SNS の書き込みのほとんどが「日記」の機能に限られている。

地域 SNS 内に開設した「コミュニティ」内での書き込みが少ないため、情報の質と量の充実、使い易さ、アクセスのし易さなど、改善点の抽出が必要な時期に来ている。

今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 「オフ」会の開催など登録者同士の出会いの場を企画する際に、民間の NPO であれば、幅広い内容が可能となる。また、行政が運営するとどうしても堅い内容となるため、運営は民間に委ねたほうが良いと思う。
- ・ 市内のきめ細かな情報を集めようとする場合、行政職員には時間的な余裕が少ないため、NPO が持つ「時間資源」は重要な要素となる。当市ではこのような協力団体がなければ地域 SNS を開設できなかったことから、他の自治体においても協力団体の存在は重要な要素になると思う。
- ・ 受託者となった NPO は、地域 SNS のような市民参加型サイトの構築を考えていたが、サーバの準備や機器の管理が課題となっていた。その課題部分を行政が担うことにより、地域 SNS が構築できた。今後、NPO などの活動団体が「やりたい」企画を、行政が上手くサポートするような協働のあり方が増えていくような感想をもった。

アドレス

きたひろしま地域 SNS しゃべねっと

<http://sns.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>